公司と秘密結社：植民地国家の外にあった統治

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

「公司」の意味

「公司（*kongsi*）」という言葉には複数の意味があり、華人の組織の歴史を照らし出しています。基本的な意味は組合または会社、すなわち財産を共有し、あるいは事業を共同で営む人々の集団です。同じ言葉は、西ボルネオの自治的な鉱山共同体、ガンビール栽培者の団体、そして英国人が秘密結社と呼んだ義兄弟の結社をも指していました。現代のシンガポールでは、1830年に義安館（Ngee Ann Kun）として設立された潮州人の団体である義安公司（Ngee Ann Kongsi）のように、由緒ある機関の名称にこの言葉が使われています。[1]

この言葉の幅広さは、南洋の華人が商業上の組合、コミュニティの団体、政治的組織の間に明確な線を引いていなかったことを示しています。鉱山や農園を開くために資本を出し合った男たちの集団は、同時に自らを統治し、構成員の面倒を見て、外部に対して自らの利益を守りました。公司は経済的な事業体であると同時に、小さな政治共同体でもあったのです。[2]

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

天地会と義興

シンガポールの義兄弟結社は、天地会（Tiandihui）に由来します。天地会は18世紀半ばに福建で生まれ、満州族の清朝を倒して明を復興することを目的としていました。[3] 清国から遠く離れた南洋では、結社は政治的な目的の多くを失い、相互扶助、労働者の募集、経済的統制のための組織となりました。「義の興隆」を意味する義興公司（Ghee Hin Kongsi）はシンガポールで最初の結社であり、1820年から記録に現れます。[4]

結社は手の込んだ入会儀式を経て構成員を受け入れ、誓いによって拘束し、裏切りには厳しい罰を科しました。植民地の警察力が小さかった町で、結社は新参者に保護を提供しました。1843年になっても、警察官は華人人口32,132人に対してわずか133人でした。この比率は1865年になってもほとんど変わらず、385人の警察官が50,043人の華人を担当していました。[5] この空白の中で、結社は農園や鉱山における労働者の募集と管理を組織し、徴税請負の一部を支配し、構成員間の紛争を解決しました。

私的秩序と暴力

他の形態の私的秩序と同じく、結社も暴力に転じることがありました。結社同士の対立は、方言集団や経済的利害の対立としばしば重なり合い、繰り返し抗争となって噴出しました。1854年の福建系と潮州系の集団による暴動は19世紀で最も深刻なもので、数百人の命が失われました。[6] その後も、1867年のペナン暴動や1876年のシンガポールにおける郵便局暴動など、騒乱が続きました。[7]

商人にとって、結社には2つの顔がありました。結社は農園経済において労働を管理し義務を履行させる組織を提供し、商人はそこから利益を得ていました。同時に、結社の暴力は財産と交易を脅かし、居留地の評判を損ないました。有力商人が結社の構成員や後援者であることも珍しくありませんでした。まっとうな商業と義兄弟結社の世界との境界は、曖昧だったのです。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

植民地政府の対応

植民地国家の対応は段階的なものでした。1867年の治安維持法（Peace Preservation Act）は、有罪判決を受けた華人移民の追放を可能にしました。1869年には危険結社取締条例（Dangerous Societies Suppression Ordinance）が結社に登録を義務付けました。最初の登録では、10の結社、618人の役員、12,371人の構成員が記録されました。[8] 1877年、政府は中国語を話すウィリアム・ピカリング（William Pickering）のもとに華民護衛司署（Chinese Protectorate）を設置し、ピカリングは初代華民護衛司（Protector of the Chinese）となりました。[9] 護衛司署は、移民の到着と雇用の監督など、それまで結社が果たしていた機能の一部を引き継ぎました。

決定的な一歩は1889年の結社条例（Societies Ordinance）によってもたらされ、これに基づき秘密結社は1890年から違法とされました。[10] コミュニティの統治における正当な役割を失った後も、結社は地下で生き延びました。その機能は団体へ、護衛司署へ、そしてますます植民地国家の諸機関へと移っていきました。

評価

結社の歴史は、金融センターの発展における一般的なパターンを示しています。すなわち、私的秩序が先行し、後に公的秩序に道を譲るというパターンです。国家が弱いところでは、コミュニティは合意を履行させ治安を維持するための独自の制度を生み出します。そうした制度はコミュニティの内部では効果的ですが、外部に対しては危険にもなり得ます。国家が強くなるにつれ、国家はその機能を引き継ぎ、制度を登録させるか抑圧し、その構成員を共通の法の下に置きます。

この移行には費用と便益の両面があります。便益は、コミュニティへの所属にかかわらず、すべての人に安全と履行の保障が及ぶことです。これにより、交易と信用が流れる範囲が広がります。費用は、コミュニティの制

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

度が提供していた地域の知識と非公式な柔軟性が失われることです。強い国家と活発なコミュニティ団体を併せ持つ現代シンガポールの姿は、本書の後の部で検討するとおり、両者の間の永続的な妥協として読むことができます。

注

1. Wikipedia, “Seah Eu Chin”（2026年9月最終閲覧）：1830年に義安館の設立に関わり、同館は1845年に義安公司となった。 ↩
2. 組合、自治、相互扶助を兼ね備えた形態としての公司については、Wang Tai Peng, *The Origins of Chinese Kongsi*, Petaling Jaya, Pelanduk, 1994、および Carl A. Trocki, “Chinese Revenue Farms and Borders in Southeast Asia”, *Modern Asian Studies*, 2009 参照。 ↩
3. “Heaven, Earth and Brotherhood”, *BiblioAsia*, vol. 13, issue 2, 2017年7〜9月：天地会は1700年代半ばに福建で、清を倒し明を復興することを目的として生まれた。 ↩
4. “Heaven, Earth and Brotherhood”, *BiblioAsia*, vol. 13, issue 2, 2017年7〜9月：シンガポール最初の秘密結社である義興公司は “formally registered in 1820” とされる。 ↩
5. Wikipedia, “Secret societies in Singapore”（2026年9月最終閲覧）：1843年には華人住民32,132人に対し警察官133人、1865年には華人人口50,043人に対し警察官385人。 ↩
6. 1854年5月の福建・潮州暴動は約10日間続き、死者数は通常約400人とされる。National Library Board Singapore, Infopedia, “Hokkien-Teochew Riots (1854)” 参照。 ↩
7. 1867年のペナン暴動と1876年の郵便局暴動について、Wikipedia, “Secret societies in Singapore”（2026年9月最終閲覧）参照。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

8. Wikipedia, “Secret societies in Singapore”（2026年9月最終閲覧）：1867年の Peace Preservation Act、登録を義務付けた1869年の Dangerous Societies Suppression Ordinance、“10 societies, 618 office bearers and 12371 members were registered in the first round of registrations”。 ↩
9. “Heaven, Earth and Brotherhood”, *BiblioAsia*, vol. 13, issue 2, 2017年7〜9月：William A. Pickering は1877年に初代華民護衛司となった。 ↩
10. “Heaven, Earth and Brotherhood”, *BiblioAsia*, vol. 13, issue 2, 2017年7〜9月：1889年の Societies Ordinance により秘密結社は違法とされ、1890年に施行された。 ↩

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com